

令和2年度鹿児島県当初予算が決まりました

～「鹿児島だから幸せ」を実感できる社会に～



飛躍の年みんなで作ろうしあわせGO!GO!予算

令和2年度当初予算(一般会計) 8,398億5,300万円

令和2年度当初予算は、歳入・歳出両面にわたる徹底的な行財政改革などにより、財源不足をゼロにするとともに、財政健全化にも積極的に取り組み、借金残高を80億円減らしました。

県政の2本柱である子育て支援や高齢者の生き生き支援に過去最高額を計上し、県民福祉の向上のための施策をさらに充実させるとともに、障害者支援施策の推進体制の強化を図ります。また、観光・農林水産業の戦略に基づく取り組みや、中小企業や商店街の発展・活躍の支援、人材確保・育成など、経済成長や県勢の発展のための施策を積極的に推進します。

さらに

子育て支援と高齢者の生き生き支援の2本柱を充実!



子育て支援
過去最大規模

総額398億円
(全体で96事業)



高齢者の生き生き支援
過去最大規模

総額295億円
(全体で37事業)

結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援を実施

産科医・保育士の確保

- 地域の中核的な病院への産科医派遣を増員
- 将来、県内で保育士を目指す学生に修学資金を貸与

児童虐待への確実な対応・防止

- 児童相談所の児童福祉司等を増員
- 児童家庭支援センターを新たに北薩地域に設置

医療、食、教育で格差のない社会づくり

安心して子どもが医療を受けられるように

- 医療費の窓口負担ゼロ(住民税非課税世帯の未就学児)
⇒令和3年度から高校生まで窓口負担ゼロに

子どもたちの食の支援

- 新たに子ども食堂の新規開設費用を助成
- 子ども食堂をサポートするアドバイザーを派遣

安心して子どもたちが学べる環境づくり

- 公立小・中・義務教育学校、県立学校へ児童・生徒の悩みに対応するスクールカウンセラーなどを配置
- 特別支援学校で医療的ケアを行う看護師を増員

高齢者の皆さんが健やかで生きがいを持てる社会づくり

高齢者の生きがいと健康づくり

- 県グラウンド・ゴルフ大会を初開催
- 食生活の改善と運動機能の維持・向上を一体的に推進

健康づくり活動などにお得なポイントを付与

(個人最高5千円、グループ最高8万円)

- 地域商品券等に交換できるポイントを付与
⇒対象:「ころばん体操」などの健康づくりや地域貢献活動など

⇒子ども食堂への支援活動等の場合はポイントアップ

詳細は4ページに掲載

高齢者の皆さんが安心して自分の地域で暮らせる社会づくり

介護職員の人材確保

- 介護ロボットやICT(情報通信技術)の導入による業務の効率化
- 介護未経験者の参入を図るため、元気な高齢者を対象に入門的研修などを実施
- 介護施設における外国人材の受け入れを支援

安心して在宅療養できるように

- 訪問看護サービスの確保・充実を図るために、新卒等の看護師に対する教育プログラムの作成や訪問看護の実態調査を実施